

貸借対照表

平成28年 3月31日現在

公益社団法人日本WHO協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,966,125	6,737,159	△ 771,034
未 収 会 費	50,000	1,350,000	△ 1,300,000
未 収 金	161,200	30,800	130,400
前 払 金	70,566	4,830	65,736
流動資産合計	6,247,891	8,122,789	△ 1,874,898
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
ソ フ ト ウ ェ ア	147,545	186,035	△ 38,490
その他固定資産合計	147,545	186,035	△ 38,490
固定資産合計	147,545	186,035	△ 38,490
資産合計	6,395,436	8,308,824	△ 1,913,388
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 費 用	453,984	154,386	299,598
前 受 金	61,551	0	61,551
前 受 会 費	5,299,000	0	5,299,000
預 り 金	68,574	61,215	7,359
短 期 借 入 金	1,350,000	1,400,000	△ 50,000
流動負債合計	7,233,109	1,615,601	5,617,508
負債合計	7,233,109	1,615,601	5,617,508
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	△ 837,673	6,693,223	△ 7,530,896
一般正味財産合計	△ 837,673	6,693,223	△ 7,530,896
正味財産合計	△ 837,673	6,693,223	△ 7,530,896
負債及び正味財産合計	6,395,436	8,308,824	△ 1,913,388

財産目録

平成28年 3月31日現在

公益社団法人日本WHO協会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額
(流動資産)					
現金 預金	現金 預金	手元保管	運転資金として		17,639
		普通預金	運転資金として		5,948,486
		三菱東京UFJ	京都支店		1,022,347
		三井住友銀行	大阪中央支店		848,825
		りそな銀行	大阪営業部		1,399,103
		郵便振替口座			2,578,388
		ゆうちょ銀行	大阪東店		38,262
		関西アーバン銀行	堺筋本町店		61,561
					50,000
		未収会費	賛助会員会費：法人	@10000×5口	
未収金		広告掲載料 6社		161,200	
前払金				70,566	
	啓発：ウェブ	支払手数料 1件			
	啓発：セミナー	旅費交通費 2名分			
	管理費	電話機リース料 1件			
流動資産合計					6,247,891
(固定資産)					
その他固定資産	ソフトウェア	会計ソフト			147,545
固定資産合計					147,545
資産合計					6,395,436
(流動負債)					
未払費用		啓発：機関誌	印刷費 1件		453,984
		管理費	通信運搬費 4件		
			福利厚生費 1件		
			消耗品費 4件 他1件		
前受金					61,551
前受会費		連携・協力：委託収益	サラヤ㈱		
		正会員：法人	@100000×21		5,299,000
		正会員：個人	@50000×28		
		賛助会員：法人	@10000×125		
		賛助会員：個人	@5000×109		
		賛助会員：学生	@2000×2		
預り金			管理費 源泉所得税		68,574
短期借入金		理事5名	運転資金として		1,350,000
流動負債合計					7,233,109
負債合計					7,233,109
正味財産				△	837,673

正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

公益社団法人日本WIIO協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	[8,596,983]	[8,320,671]	[276,312]
W H O 啓 発 事 業	[1,294,800]	[4,637,475]	[△ 3,342,675]
研 究 ・ 提 言 事 業	[1,080,000]	[4,320,000]	[△ 3,240,000]
連 携 ・ 協 力 事 業	[2,361,449]	[2,617,000]	[△ 255,551]
支 援 ・ 募 金 事 業	[14,060]	[0]	[14,060]
人 材 開 発 事 業	[313,500]	[414,200]	[△ 100,700]
受 取 利 息	[692]	[766]	[△ 74]
経常収益計	13,661,484	20,310,112	△ 6,648,628
(2) 経常費用			
W H O 啓 発 事 業 費	[7,083,831]	[9,062,173]	[△ 1,978,342]
研 究 ・ 開 発 事 業 費	[1,301,775]	[1,025,015]	[276,760]
連 携 ・ 協 力 事 業	[4,255,647]	[4,202,780]	[52,867]
支 援 ・ 募 金 事 業	[14,060]	[1,215,979]	[△ 1,201,919]
人 材 開 発 事 業	[1,705,484]	[775,481]	[930,003]
管 理 費	[6,681,583]	[4,946,292]	[1,735,291]
雑 損 失	[150,000]	[450,000]	[△ 300,000]
経常費用計	21,192,380	21,677,720	△ 485,340
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,530,896	△ 1,367,608	△ 6,163,288
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,530,896	△ 1,367,608	△ 6,163,288
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
ソ フ ト ウ ェ ア 除 却 損	[0]	[8,784]	[△ 8,784]
経常外費用計	0	8,784	△ 8,784
当期経常外増減額	0	△ 8,784	8,784
当期一般正味財産増減額	△ 7,530,896	△ 1,376,392	△ 6,154,504
一般正味財産期首残高	6,693,223	8,069,615	△ 1,376,392
一般正味財産期末残高	△ 837,673	6,693,223	△ 7,530,896
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	△ 837,673	6,693,223	△ 7,530,896

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の処理について

税込方式によっている。

(2) 資金の範囲

資金の範囲は、現金・預金、及び短期債務債権をいう。未収会費、未収金、前払金、未払費用、前受金、前受会費、預り金、短期借入金をいう。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
無形固定資産			
ソフトウェア	192,450	44,905	147,545
合計	192,450	44,905	147,545

3. 次期繰越収支差額の内訳

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	6,737,159	5,966,125
未収会費	1,350,000	50,000
未収金	30,800	161,200
前払金	4830	70,566
合計	8,122,789	6,247,891
未払費用	154,386	453,984
前受金	0	61,551
預り金	61,215	68,574
前受会費	0	5,299,000
短期借入金	1,400,000	1,350,000
合計	1,615,601	7,233,109
次期繰越収支差額	6,507,188	-985,218

4. 短期借入金の明細

(単位：円)

川北 光博	150,000
小田 節子	300,000
土屋 義弘	300,000
巽 昭夫	300,000
桑原 正人	300,000
合計	1,350,000

5. 誤謬の修正及び継続事業の前提に関する注記

前期までは「前受会費」や「前受金」を計上せずに、収入として会計処理をしていました。

当法人では資金の範囲に短期債権債務を含めていることに鑑み、当期はこれを是正し、正しく計上しています。

結果、当事業年度において、当期一般正味財産増減額が 7,530 千円のマイナスとなり、837 千円の債務超過となっております。当該状況により、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況から抜け出す為、予算案の通り、会員の獲得と寄付金を募る努力をしてまいります。